

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.91	0.18
JPY/THB	0.2597	0.0015
USD/JPY	134.42	0.01
EUR/THB	36.34	-0.18
EUR/USD	1.0409	-0.0110
USD/CNH	6.783	0.052
SGD/THB	25.02	0.01
AUD/THB	24.18	-0.27
USD/INR	78.04	0.20
USD Index	105.08	0.93

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.614	0.151
10Y (THB)	3.090	0.161
5Y (USD)	3.482	0.224
10Y (USD)	3.360	0.204

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,828.0	-43.5
WTI (Oil)	120.93	0.26
Copper	9,294.0	-153.5

Stock

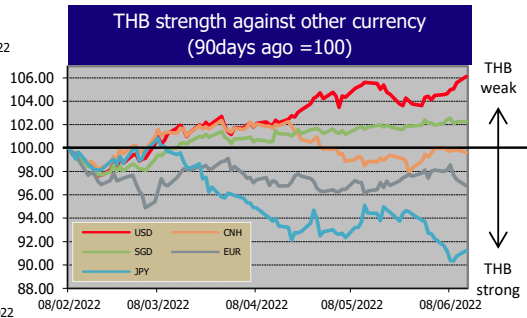
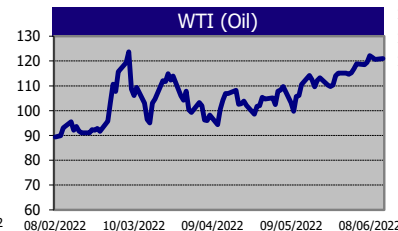
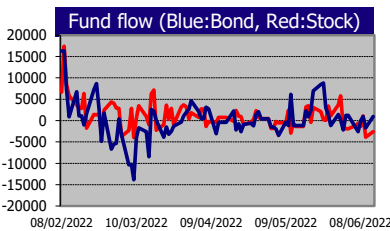
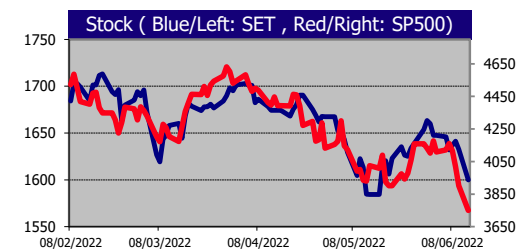
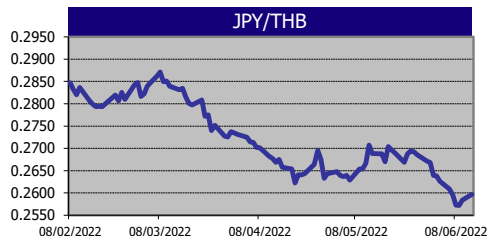
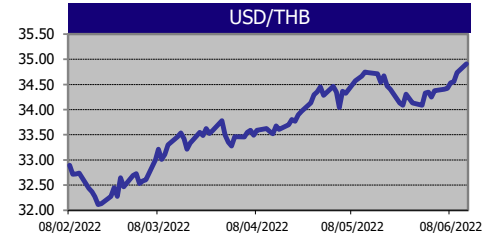
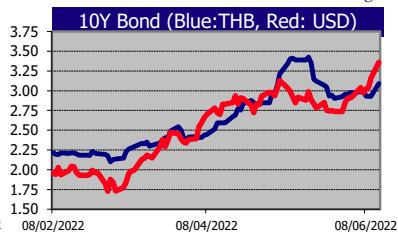
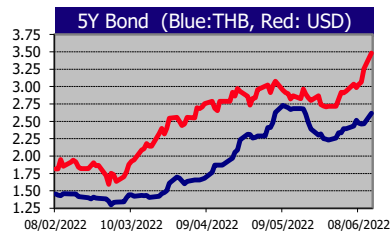
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,600.06	-32.56
NIKKEI (JP)	26,987.44	-836.85
DOW (US)	30,516.74	-876.05
S&P500 (US)	3,749.63	-151.23
SHCOMP (CN)	3,255.55	-29.28
DAX(GER)	13,427.03	-334.80

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,597)	1263.2
Bond net flow	978	2650.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは高値を更新。バンコク時間は34.85近辺でオープン。先週末の強い米5月CPI結果を受けて、米国の利上げペース拡大も意識される中、これまでハト派スタンスを維持していたタイ中銀のセタット総裁からも「利上げが遅すぎるのは良くない」との発言が見られ、タイの利上げも意識される中でドルパーツは34.75近辺まで下落した。しかし、海外時間に入り、米金利が大きく上昇する中でドル買いが強まると、ドルパーツもつれ高を辿り年初来高値を更新。引けにかけても上昇基調が継続し、結局34.90近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は一時135円台まで上昇。東京時間のドル円は134.80レベルでオープン。先週金曜日に発表された強い米5月CPI結果を受けてドル高が加速する中、週明けも実需のドル買いに支えられて、公示仲値発表にかけて135.00円をタッチ。午後に入り、1998年10月以来となる135.22円まで上昇するが、その後、参院決算委員会にて黒田日銀総裁から「最近の急激な円安の進行は経済にマイナス、好ましくない」との円安牽制発言がなされると134.50割れまで下落。海外時間に入り、米2-10年金利が逆転し、リセッション懸念が強まる中で、株式市場も全面安の様相となり、リスクオフムードが強まる中でドル円は133.60まで下げを加速。その後は、FRBの利上げペース拡大観測の強まりから米長期金利が3.40%を超える中、ドル円も上昇基調を辿り、結局134.40円まで値を戻してクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨日のマーケットは、先週末の強い米5月CPIに強く反応する形で各種マーケットでボラティルな展開を辿りました。ドル円は心理的節目となる135円台に到達し、米2年金利については前日比で30bp近く上昇。米2-10年金利も逆転し、リセッション及びハードランディング懸念が強まる中で各種リスク資産が暴落。米主要3指数も3%近く下落し、今週迎えるFOMCの前に非常に神経質な展開となってきました。タイにおいても、先週末実施された金融政策委員会(MPC)では政策金利の現行維持が決定されたものの、投票が4-3に割れたことで利上げの可能性が高まったことに加え、昨日はセタット中銀総裁からも利上げを支持する発言を見せたことで、次回(8月10日)の会合を前に利上げに向けた地ならしも意識される状況となってきました。世界各国でインフレの高止まりが懸念される中、アジア諸国も金融引き締めを進めざるをえない状況となってきており、タイにおいても、コロナ後の経済回復局面で景気の腰折れが心配される状況ではありますが、インフレへの警戒度が日に日に高まってきている風に感じます。インフレ収束のためのソフトランディングが望ましいのは当然ですが、目先数か月間は、ハードランディングにも警戒した運営が必要となってきそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.